

胸部CT検査を受けましょう

肺がんは、早期発見・早期治療によって『治る』確率が高くなると言われています。
胸部CT検査は、肺がんの早期発見が可能です。

胸部CT検査って何？

肺を細かく輪切りにして画像化することで、肺の詳しい状況について知ることができます。早期の肺がんは、CT検査でないと見ることができない場合が多いです。

どんな病気が分かる？

肺がん、COPD（慢性閉塞性肺疾患:肺気腫や慢性気管支炎など）、その他肺の病気



侮れない！COPD

近年増加している、喫煙との関連が非常に深い肺の病気です。病状の悪化により、呼吸機能の低下を来すだけでなく、**肺がんや肺炎、心不全、動脈硬化など様々な病気を併発**

結果表は後日郵送します

胸部CT検査料金

9,900円（税込）

〈胸部CT検査を特にお勧めしたい方〉

- 50歳以上の方
- 喫煙係数400以上の方（喫煙係数＝タバコ1日の本数×喫煙年数）
- 咳・痰・胸痛が続いたり、痰に血が混じったりする方
- 近親者にがんにかかされた方がおられる方
- 有害物質（石綿など）を取り扱う業務に従事する方

単独受診も、健康診断のオプションとしての実施も可能です。
（詳細についてはお問い合わせください。）

〈お問合せ・お申込み〉

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院 総合健診センター一部
電話（直通）：0576-23-2233 FAX：0576-23-2234
月～金 13:00～16:00（祝日除く）

増えている肺がん！たばこが最大のリスク！！

『卒煙』は今のうちに！

副流煙は特に危険！！～喫煙者だけの問題ではありません～

有害物質は、主流煙よりも副流煙の方に数倍から数十倍多く含まれています。

有害物質	主流煙	副流煙
タール（発がん促進物質）	1	3.4 倍
ニコチン（ゴキブリの殺虫剤成分）	1	2.8 倍
一酸化炭素（酸素の運搬機能を妨げる）	1	4.7 倍
アンモニア	1	46.0 倍

（参考：厚生労働省「タバコのリスク「主流煙と副流煙」」）

肺がん、狭心症、心筋梗塞、脳卒中、COPDなどが発症しやすくなります。



妊婦がタバコを吸っていなくても、家族に喫煙者がいる場合、低出生体重児や早産のリスクが上昇します。子どもへの健康被害として、中耳炎、喘息の誘発と悪化、呼吸器感染症（気管支炎・肺炎）、乳幼児突然死症候群などがあります。

上手に楽しく卒煙

離脱症状は、体からニコチンが消えていき、健康な体に回復しつつあるサインです。

「吸いたい」気持ちをコントロール

- 冷水・氷を口にする
- 深呼吸をする
- 体を動かす
- 場所を変える
- 歯を磨く
- シュガーレスガムをかむ など



卒煙のコツ！！

- タバコの害をイメージする
- 卒煙のメリットを考える
- 気軽に考える
- タバコの煙の多い場所に近づかない
- 卒煙仲間をつくる など

卒煙成功者からのメッセージ

卒煙すると、健康面だけでなく生活面でも

出費が減った

外の空気や食事が美味しいと感じるようになった

運動しても、すぐに息切れをしなくなった

家族や友人から「臭い」と言われなくなった

非喫煙者との関係が良くなった



卒煙で取り戻せる寿命

喫煙で寿命が短くなりますが、卒煙すれば寿命が取り戻せます。

卒煙年齢	寿命
35 歳	+10 年間
40 歳	+9 年間
50 歳	+6 年間
60 歳	+3 年間

（参考：すぐ禁煙.jp（ファイザー株式会社））

※この資料では、禁煙に前向きな気持ちで取り組めるように「卒煙」という表現を用いています。